

# 第59回 日本消化器内視鏡学会東海支部例会 プログラム

日 時：平成28年12月3日(土) 午前9時00分より

会 場：名古屋国際会議場 2号館  
〒456-0036 名古屋市熱田区熱田西町1-1  
TEL：052-683-7711

参加受付：2階 ロビー  
P C受付：2階 ロビー  
第1会場：2階 会議室224  
第2会場：2階 会議室222+223  
第3会場：3階 会議室234  
第4会場：3階 会議室232+233  
企業展示：1階 会議室211+212  
クローク：1階 ロビー

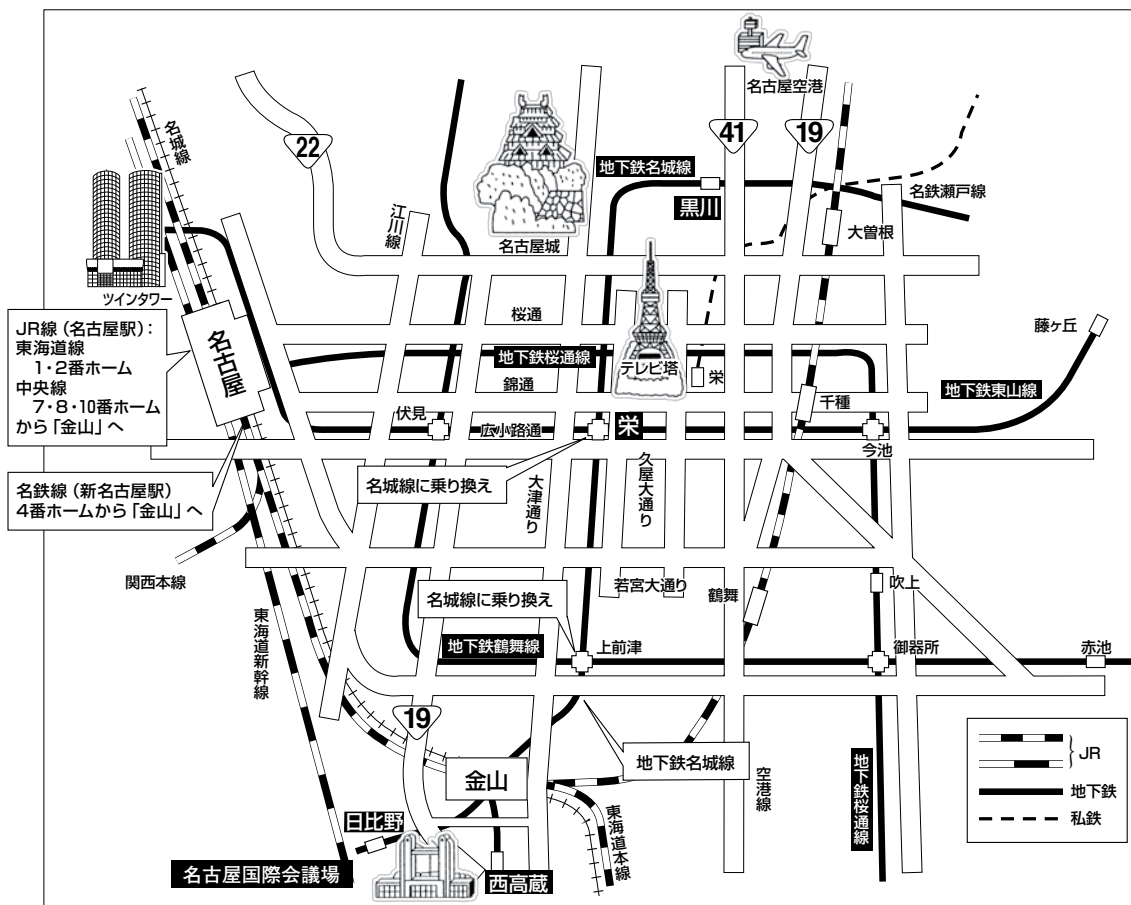
会 長：廣岡 芳樹  
名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部



# 【目次】

会場への交通のご案内	4
会場のご案内	5
タイムスケジュール	6
ご案内・お願い	7
プログラム	9
抄録	55
協賛企業一覧・企業展示一覧・広告	103

# 【会場への交通のご案内】



## 名古屋国際会議場までの交通案内

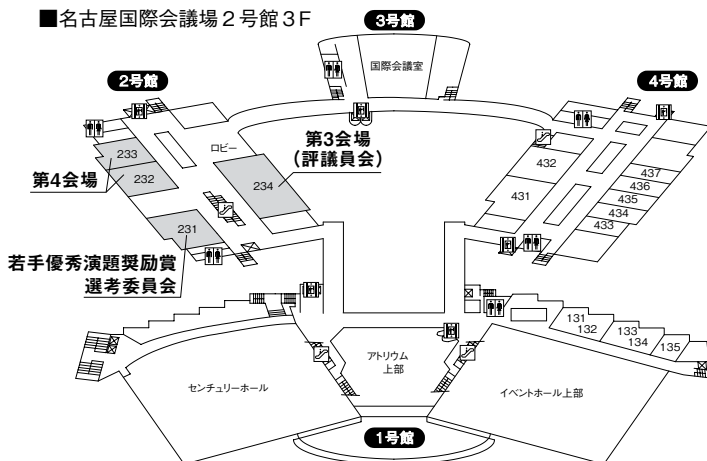
●新幹線等で名古屋へお越しの方は、JR名古屋駅で在来線「JR中央線」もしくは「JR東海道線」にお乗りかえの上、金山駅までお乗りつぎ下さい。

地下鉄名城線(「日比野」、「西高蔵」駅で下車)のご利用が便利です。

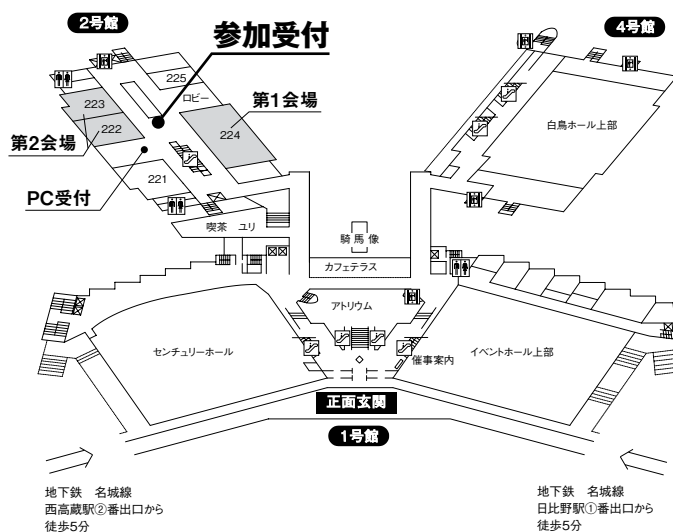
- ・JR・名鉄・金山総合駅から最寄り駅まで2分  
地下鉄名城線(名古屋港行「日比野」下車1番出口から徒歩5分)  
又は(金山・新瑞橋方面左回り「西高蔵」下車、2番出口から徒歩5分)
- ・JR・名鉄金山総合駅からタクシー約10分、約1,000円
- ・JR名古屋駅から最寄り駅まで約20分  
地下鉄東山線「栄」乗りかえ、名城線(名古屋港行「日比野」下車、1番出口から徒歩5分)  
又は(金山・新瑞橋方面左回り「西高蔵」下車、2番出口から徒歩5分)
- ・JR名古屋駅からタクシー約20分、約3,000円

# 【会場のご案内】

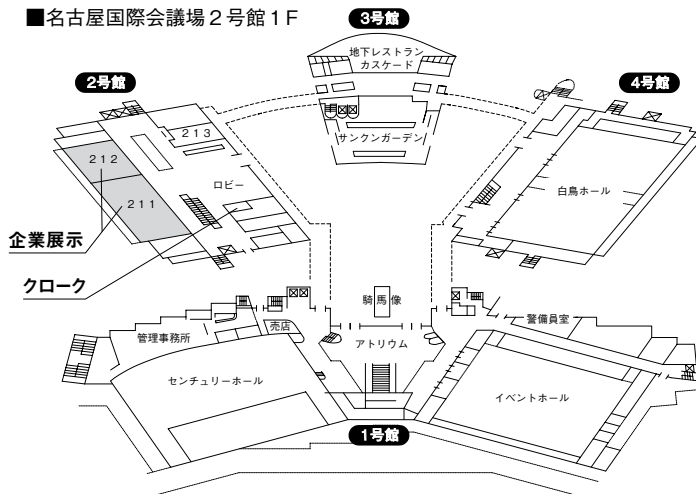
■名古屋国際会議場2号館3F



■名古屋国際会議場2号館2F



■名古屋国際会議場2号館1F



# タイムスケジュール

	第1会場 2F 会議室224	第2会場 2F 会議室222+223	第3会場 3F 会議室234	第4会場 3F 会議室232+233	展示会場 1F 会議室211+212	選考委員会会場 3F 会議室231
	開会の辞	若手研究者優秀演題奨励賞選定セッション				
9:00	シンポジウム② 09:00~11:15 『胆膵疾患におけるEUSの最前線』  司会：橋本千樹 林 香月 S2-1~15	09:00~09:35 食道・十二指腸/Y1~5 座長：冨江 晃	09:00~09:28 小腸/Y14~17 座長：本田 亘	09:00~09:28 胆道/Y27~30 座長：石川卓哉	企業展示	若手研究者奨励賞 選考委員会 10:40~11:20
9:30		09:35~10:03 胃良性/Y6~9 座長：丸田真也	09:28~10:03 大腸良性/Y18~22 座長：荒川大吾	09:28~09:49 膵臓/Y31~33 座長：原 和生		
10:00		10:03~10:31 胃悪性/Y10~13 座長：角嶋直美	10:03~10:31 大腸悪性/Y23~26 座長：馬場洋一郎	09:49~10:24 その他/Y34~38 座長：鶴留一誠		
10:30		10:31~10:59 胃良性・その他/1~4 座長：柴田知行	10:31~11:13 大腸良性/23~28 座長：城 浩介	10:24~10:59 食道/43~47 座長：坂巻慶一		
11:00						
11:30	ランチョンセミナー① 11:30~12:20 司会：後藤秀実 講師：古田隆久 共催：アストロビオ株式会社 第一三共株式会社	ランチョンセミナー② 11:30~12:20 司会：小寺泰弘 講師：木村 豊 共催：日本イライラ株式会社				
12:00						
12:30			評議員会 12:30~13:20			
13:00						
13:30			表彰式 13:20~13:35			
14:00	特別講演 13:45~14:45 司会：後藤秀実 講師：岡崎和一					
14:30						
15:00	シンポジウム① 15:00~17:00 『今、あらためて考えるESDの課題とその対策』  司会：田近正洋 舩坂好平 S1-1~11	15:00~15:28 胃良性/5~8 座長：片岡洋望	15:00~15:35 大腸悪性/29~33 座長：堀木紀行	15:00~15:28 胆道悪性/48~51 座長：三好広尚		
15:30		15:28~15:56 胃悪性1/9~12 座長：小林 真	15:35~16:10 小腸1/34~38 座長：大澤 恵	15:28~16:03 胆道良性/52~56 座長：黒岩正憲		
16:00		15:56~16:31 胃悪性2/13~17 座長：小笠原尚高	16:10~16:38 小腸2/39~42 座長：井深貴士	16:03~16:38 膵臓1/57~61 座長：野々垣浩二		
16:30		16:31~17:06 十二指腸・その他/18~22 座長：古川和宏		16:38~17:06 膵臓2/62~65 座長：山田玲子		
17:00		閉会の辞				

## 【ご案内・お願い】

### ○会場整理費

- 本学会では、会場整理費として一人2,000円を参加受付にてお支払いいただきます。
- 受付時に、ネームカード（兼領収証）、プログラム集をお渡し致します。

### ○演題発表

- パソコンによる発表となります。
- 発表時間  
一般演題……………口演5分・質疑2分・スライド10枚以内  
若手研究者優秀演題  
奨励賞選定セッション……………口演5分・質疑2分・スライド10枚以内  
シンポジウム1……………口演8分・質疑2分・総合討論なし  
シンポジウム2……………口演6分・質疑2分・総合討論なし
- 発表時間30分前までにPC受付にて受付をしてください。
- USBフラッシュメモリー、CD-R以外のメディアでは受付できません。  
※ファイル名は「(演題番号) (氏名)」とし、動画等のリンクデータを含むフォルダーも、ファイル名と同じフォルダー名としてください。
- 演台上のキーボード、マウスにてご自身でスライドを進めてください。
- 受付したデータは使用後、事務局にて責任を持って消去いたします。

### ○データ作成上の留意点

- 会場PCのOSはWindows 7、ソフトはPower Point、2010です。
- フォントはMSゴシック、MS明朝等、一般的なものをご使用ください。
- Macintoshにて作成の場合、事前にWindows上での動作確認と、Windows用にデータ変換を行った上でのご用意をお願いします。
- 動画はWindows Media Playerで再生可能であるものに限定します。
- 他のデータ（静止画・動画・グラフ等）をリンクさせている場合は必ず元のデータも保存して頂き、事前に動作確認をお願いします。
- 動作確認は作成に使用したPC以外のWindowsで行って下さい。
- データを保存する前に必ずウイルスのチェックを行って下さい。
- 液晶プロジェクターの出力解像度はXGA（1024×768）に対応しております。
- 音声出力は使用できません。  
(Macintoshにて作成されたデータの場合は、PC本体を持参下さい。)

○座長の先生へ

座長の先生は座長受付（参加受付併設）にてご出席確認をお済ませいただき各担当セッションの開始15分前までに会場内の次座長席におつき下さい。

○評議員会

日時：平成28年12月3日（土）12：30～13：20

会場：3階 会議室234

※昼食はご用意しておりません。ランチョンセミナーなどで昼食をお取り下さい。

○表彰式

日時：平成28年12月3日（土）13：20～13：35

会場：3階 会議室234

○企業展示

1階 会議室211+212 9：00～16：00

## 若手研究者優秀演題奨励賞について

医学部卒後5年以内の研修医（旧初期研修医）および専門医（旧後期研修医）を対象に若手医師が発表した演題の中から優秀演題に対して「若手医師研究奨励賞」を選定し、支部例会会長より賞状と奨励金を贈呈いたします。そのうち上位6名を翌年春の日本消化器内視鏡学会総会へ招待いたします。

今回は、対象演題を「若手研究者優秀演題奨励賞選定セッション」にて順次ご発表いただき、審査員が発表内容などについて審査し、評議員会終了後に表彰いたします。審査対象の先生方は、13時20分からの表彰式には第3会場にご参集いただきますようお願い申し上げます。



## 特別講演

# IgG4関連胆膵疾患における最近の知見

関西医科大学 内科学第三講座

岡崎 和一

自己免疫性胆膵疾患には、胆管病変である原発性胆汁性肝硬変 (primary biliary cirrhosis : PBC)、原発性硬化性胆管炎 (primary sclerosing cholangitis : PSC)、IgG4-関連硬化性胆管炎 (IgG4-related sclerosing cholangitis : IgG4-SC)、膵病変である自己免疫性膵炎 (autoimmune pancreatitis : AIP) などが含まれる。いずれも、IgG4陽性形質細胞の著明な浸潤と線維化を特徴とする特異な病理組織よりIgG4関連疾患 (IgG4-related disease) としても注目されており、それぞれ病理組織学的に lymphoplasmacytic sclerosing pancreatitis (LPSP) や lymphoplasmacytic sclerosing cholangitis (LPSC) とも称される。

AIPは、1型と2型AIPの2亜型に分類される。1型AIPは、IgG4-RDの膵病変であり、lymphoplasmacytic sclerosing pancreatitis (LPSP) と同義である。欧米に多い2型AIPは好中球上皮病変 (granulocytic epithelial lesion : GEL) を特徴とし、idiopathic duct-centric chronic pancreatitis (IDCP) と同義で、1型AIPとは別の病態である。いずれも国際コンセンサス診断基準 (International consensus diagnostic criteria : ICDC) で鑑別診断可能であるが、1型が殆どを占める本邦では「自己免疫性膵炎臨床診断基準2011」がより簡便に診断できる。

IgG4-IgG4-SCは、狭窄部位では全周性の壁肥厚を認め、狭窄を認めない部位にも同様の変化がみられることが多い。自己免疫性膵炎を高率に合併する。本症の診断においては胆管癌や膵癌などの腫瘍性病変、および原発性硬化性胆管炎との鑑別が極めて重要である。また、原因が明らかな二次性硬化性胆管炎を除外する必要があるが、本症では胆管壁から外側に向かって腫瘤状に炎症性偽腫瘍を形成することがあり、胆管像のみから両者の鑑別は容易ではない。超音波内視鏡 (EUS)、管腔内超音波 (IDUS)、細胞診、組織診などにより総合的に慎重に胆道癌を鑑別する必要がある。

病因は不明である。疾患特異抗原は同定されていないが、複数の新患関連抗原の可能性が指摘されている。IgG4の病因における意義は明らかではないが、制御性T細胞や自然免疫系の異常により、IL-10やBAFF (B細胞活性化因子) などを介したIgG4産生制御機構の存在が明らかになっている。

治療にはAIP、IgG4-SCの多くの症例ではステロイド治療が有用である。閉塞性黄疸や糖尿病の合併する場合には、胆道ドレナージによる減黄や血糖コントロールを行った後にステロイドによる寛解導入をすることが推奨される。難治・再発例や複数臓器病変例、血中IgG4高値持続例については、ステロイド維持療法が推奨される。

AIP、IgG4-SCはステロイド治療により短期的には比較的良好な転帰が期待できるが、長期の予後に関しては再燃、膵機能面、悪性腫瘍併発など、いずれの疾患においても未だ不明な点が多い。

本講演では、近年急展開を見せているIgG4関連胆膵疾患について述べる。

### 参考文献

1. 日本膵臓学会・厚生労働省難治性膵疾患に関する調査研究班 自己免疫性膵炎臨床診断基準2011膵臓 27 : 17~25, 2012
2. Okazaki K, et al. Current concept and diagnosis of IgG4-related disease in the hepato-bilio-pancreatic system. J Gastroenterol. 2013 10. 1007/s00535-012-0744-3
3. Ohara H, et al. Clinical diagnostic criteria of IgG4-related sclerosing cholangitis 2012 J Hepatobiliary Pancreat Sci 2012 Sep; 19 (5) : 536-42.
4. Shimosegawa T, et al. International consensus diagnostic criteria for autoimmune pancreatitis: guidelines of the International Association of Pancreatology. Pancreas. 2011 Apr; 40 (3): 352-8.

## 〈学歴および職歴〉

### 〈略 歴〉

昭和53年 3月31日	京都大学医学部卒業
昭和53年 4月	京都大学医学部附属病院内科研修医
昭和54年 6月 1日	財団法人天理よろづ相談所病院 医員（消化器内科）
昭和57年 6月 1日	高知医科大学 助手（第一内科）
昭和61年11月25日	医学博士（京都大学）
昭和62年 5月 1日	高知医科大学 講師（第一内科）
昭和63年 4月 1日	ニューヨーク医科大学 客員研究員（消化器病研究所）
平成元年 4月 1日	州立ニュージャージー医科歯科大学 客員研究員（中央研究所）
平成7年 5月 1日	高知医科大学 助教授（第一内科）
平成7年 7月 1日	財団法人天理よろづ相談所病院 部長（内視鏡センター）
平成8年11月 1日	京都大学医学研究科助教授（光学医療診療部・消化器内科）
平成15年 4月 1日	関西医科大学内科学第三講座 主任教授
平成18年 1月～	関西医科大学附属枚方病院 消化器肝臓内科部長、内視鏡センター長（兼任）
平成20年 4月～	関西医科大学附属枚方病院 医療安全管理部長（兼任）
平成22年 4月～	関西医科大学附属枚方病院 副病院長（兼任）
平成25年 4月～	関西医科大学附属看護学校専門学校長（兼任）
平成27年 4月～	関西医科大学臨床研究支援センター長（兼任）
平成28年 4月～	関西医科大学 常任理事・評議員
平成28年 4月～	関西医科大学附属病院（名称変更）副院長、薬剤部顧問（兼任）

### 〈所属学会・研究会（役職・資格等）〉

国際膵臓学会（International Association of Pancreatology：Council Member（理事）（2008/4-）アジア太平洋消化器病学会（APAGE）Council Member（理事）（2103/4-）、日本内科学会（理事（2013/4-2015/3）、評議員、学術集会委員長）、日本消化器病学会（理事（2011/1-）役員等詮衡委員会委員長、財団企画委員会委員、英文機関誌（Journal of Gastroenterology）編集委員（2005-2010）、近畿支部幹事、指導医）、日本膵臓学会（理事長（2016/8-、理事（2010/4-）、自己免疫性膵炎委員会委員長、膵臓編集委員（H15-25度）、日本消化器免疫学会（理事（2010/8-）、評議員、財団法人日本膵臓財団（理事（2010/4-）日本炎症性腸疾患学会（理事）日本消化器内視鏡学会（社団評議員、卒後教育委員会委員、専門医制度審議会委員、査読委員、近畿支部幹事、指導医）、日本消化管学会（代議員、認定胃腸指導医）、日本臨床免疫学会（評議員）、日本臨床分子医学会（評議員）日本肝臓学会（評議員[2014-2016]、西部会評議員、指導医）、日本癌治療学会（英文機関誌編集委員）、日本胆膵病態生理機能研究会（常任世話人）、日本超音波医学会（認定専門医）、日本がん治療認定医機構暫定教育医、田附興風会北野医学研究所・北野病院評議員（平成24年～）、京都大学医学研究科人間健康科学系非常勤講師（平成15年～）、American Gastroenterological Association：International Member、American Society for Gastrointestinal Endoscopy：International Member、Society of Mucosal Immunology：Official Member、The World Society of Gastroenterology（OMGE）：Member、American Society for Microbiology：Member

### 〈Editor, Board 雑誌編集委員〉

International Journal of Clinical Oncology：Deputy Editor（1999-）、Journal of Gastroenterology：Associate Editor（2005-2010）、Pancreas：Associate Editor（2004-）、Pancreatology：Associate Editor（2004-2010）、World Journal of Gastroenterology：Editorial Board、Journal of Hepatogastroenterology：Editorial Board、膵臓：編集委員、分子消化器病：編集委員、IBDリサーチ：編集委員

### 〈厚生労働省研究班〉

難治性疾患克服事業

難治性膵疾患調査研究班 分担研究者（班長：大槻 眞 H15-19、下瀬川 徹 H20-）、特定研究：炎症性腸疾患の画期的治療開発研究班 代表研究者（H18-20）、難治性炎症性腸疾患調査研究班 研究協力者（班長：日比紀文 H15-19）、分担研究者（渡辺 守 H21-）、IgG4関連全身疾患の病態解明と疾患概念確立のための臨床研究 代表研究者（H20-23）、IgG4関連リンパ増殖性症候群（IgG4 + MOLPS）の疾患確立のための研究分担研究者（班長：梅原久範）（H20-23）、IgG4関連疾患に関する調査研究班分担研究者（千葉 勉、H24-）、原因不明の小腸潰瘍に関する研究班分担研究者（班長：日比紀文）（H20-24）

## ランチョンセミナー1

### 安全な酸関連疾患治療のために知っておくべきクスの話

浜松医科大学医学部附属病院 臨床研究管理センター

古田 隆久

高齢化社会が進むとともに、各種慢性疾患の有病者数も増加してきている。高血圧、高脂質血症、高尿酸血症、心血管障害等で悪性疾患以外でも多くの患者が、様々な薬物を内服している。職場のストレスも増え、精神神経系の薬物の使用している場合も多い。消化器に関しても、H. pylori感染率の低下、肥満、Ca拮抗薬/亜硝酸薬の内服、生活習慣病の増加によりGERDを合併し、維持的に胃酸分泌抑制薬を処方する場合がある。結果、多くの患者が複数の薬を内服し、薬物間相互作用が危惧される。そうした中で、一部の週刊誌からいくつかの薬物の長期投与に対して批判的な記事が掲載され、不安を感じる患者もでてきているとのことである。そこで、そうした患者の不安に対応するために、消化器内視鏡医が知っておくべき薬物治療に関する事項を整理することとする。

PPIは、REの再発予防、NSAID/Aspirin潰瘍の再発予防に優れており、長期的に投与されることが多い。ESD後の潰瘍治療にも用いられる。しかし、PPIの胃酸分泌抑制は、他剤の吸収に影響し、ジキタリス等は増加し、ゲフィチニブ等では低下する。また、PPIは主にP450で代謝されるために、P450を介する薬物間相互作用があり、Warfarinの効果を増強したり、Clopidogrelの効果を減弱することが報告されている。但し、Prasugrelに関しては、PPIの影響は小さく、Clopidogrelの代替になる可能性がある。

PPIを長期に投与すると胃の皺襞の肥厚、胃底腺ポリープの増加等の変化が報告されているが病的な意義は不明である。ただ、それ以外にも、胃カルチノイド腫瘍、胃癌、大腸癌、鉄欠乏性貧血、ビタミンB12欠乏、肺炎、骨折等が危惧されている。しかし、いずれもエビデンスレベルの高いものではなく、骨折に関しても骨粗鬆症の患者が椎体骨折をきたして亀背からGERDになりPPIを内服していたという可能性もある。むしろ併用しないことのリスクも

その他、消化器関連薬物の相互作用等について概説する予定出ある。

## 〈学歴および職歴〉

### 〈専門領域〉

消化器病学、消化器内視鏡学、内科学、臨床薬理学

### 〈略歴〉

昭和62年3月 産業医科大学医学部医学科 卒業  
昭和62年6月 浜松医科大学第一内科 研修医  
昭和63年6月 浜松労災病院内科  
平成8年3月 浜松医科大学大学院医学研究科卒業  
平成10年4月 浜松医科大学第一内科 文部教官助手  
平成13年2月 米国国立癌研究所 客員研究員  
平成15年2月 浜松医科大学第一内科 文部教官助手  
平成15年8月 浜松医科大学救急医学講座 文部教官助手  
平成16年8月 浜松医科大学附属病院第一内科 助手  
平成17年8月 浜松医科大学臨床研究管理センター 副センター長 助教授  
平成24年11月 同 病院教授（現職）

### 〈所属学会〉

日本消化器内視鏡学会：専門医、指導医、東海支部評議員、学会評議員、  
財団評議員

日本内科学会：認定医、認定専門医、東海支部評議員、研修医指導医

日本消化器病学会：専門医、指導医、東海支部評議員、学会評議員、財団評議員

日本臨床薬理学会：認定医、指導医、評議員、

日本ヘリコバクター学会：評議員、理事、ヘリコバクター感染症認定医

日本消化管学会：評議員、認定医、専門医、指導医

日本消化器がん検診学会：認定医

日本臨床腫瘍学会：暫定指導医

日本癌治療学会

日本がん治療認定医機構 がん治療認定医

米国癌学会

米国消化器病学会

米国臨床薬理学会

## ランチョンセミナー 2

### 進行胃癌に対する化学療法の新展開

近畿大学外科 上部消化管部門

木村 豊

胃癌に対する治療は、「胃癌治療ガイドライン」を目安ととして日常臨床が行われている。2014年5月に第4版として改訂された後、第Ⅲ相臨床試験の結果をもとにオキサリプラチン、ラムシルマブに関して速報版が公開され、新たな展開を迎えている。

1次治療においては、G-SOX 試験の結果、胃癌においてもオキサリプラチンの使用が可能となり、入院治療が必要なシスプラチンから外来治療が可能なオキサリプラチンへの置き換えが進みつつある。大腸癌で使い慣れている場合もあるが、胃癌において初めて使用する場合には、末梢神経障害、アレルギー反応など特徴的な副作用もあるため、そのマネジメントには十分注意しなければならない。

2次治療においては、RAINBOW 試験の結果よりパクリタキセル+ラムシルマブ療法が推奨度1、REGARD 試験の結果よりラムシルマブ療法がパクリタキセル、ドセタキセル、イリノテカンとともに推奨度2としてガイドライン速報版に記載された。しかしながら、日常臨床での使用は始まったばかりであり、3次治療以後の使用やラムシルマブ単剤療法の日本人での報告はないため、注意が必要である。

今回、胃癌治療ガイドラインに加えて新展開を迎えつつある進行胃癌の治療法の動向、注意点やマネジメントについて自身の使用経験もまじえて講演させていただく。

## 〈学歴および職歴〉

### 〈略 歴〉

1990（平成2）年3月	大阪大学医学部 卒業
1990（平成2）年6月	大阪大学医学部附属病院 第二外科研修医
1991（平成3）年7月	公立学校共済組合近畿中央病院 外科医員
1998（平成10）年3月	大阪大学医学部大学院 卒業（医学博士取得）
1998（平成10）年4月	箕面市立病院 外科医長
2002（平成14）年1月	東京都立駒込病院 外科医員
2003（平成15）年1月	大阪大学医学部附属病院 消化器外科医員
2003（平成15）年4月	NTT西日本大阪病院 外科医長
2012（平成24）年7月	市立堺病院 胃食道外科担当部長・ 外来化学療法センター長
2014（平成26）年4月	市立堺病院 外科統括部長兼任
2015（平成27）年7月	堺市立総合医療センター（改称） 外科統括部長・外来化学療法センター長
2016（平成28）年4月	近畿大学医学部外科学教室（上部消化管部門） 准教授
2016（平成28）年12月	現在に至る

## ■第1会場

シンポジウム1 15:00~17:00

司会：愛知県がんセンター中央病院 内視鏡部

田近正洋

名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学

船坂好平

- S1-1 MM以深食道表在癌に対するESD+予防CRTの治療成績  
愛知県がんセンター中央病院 消化器内科部<sup>1)</sup>、内視鏡部<sup>2)</sup>  
○鈴木博貴<sup>1)</sup>、石原 誠<sup>2)</sup>、田近 正洋<sup>2)</sup>
- S1-2 上部消化管ESD後狭窄予防ステロイド局注・内服の有効性の検討  
岐阜大学医学部 消化器病態学  
○高田 淳、荒木寛司、清水雅仁
- S1-3 胃ESD困難症例の予測因子  
藤田保健衛生大学 消化管内科  
○山田日向、柴田知行、大宮直木
- S1-4 胃ESD近接困難症例における腹部圧迫近接法の有用性  
朝日大学歯学部附属村上記念病院 消化器内科  
○富江 晃、北江博晃、八木信明
- S1-5 当院における十二指腸ESDの現状  
社会医療法人宏潤会 大同病院 消化器内科  
○下郷友弥、野々垣浩二、榊原聡介
- S1-6 当院における十二指腸内視鏡治療の現状  
名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部<sup>1)</sup>、  
名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学<sup>2)</sup>  
○小林健一<sup>1)</sup>、宮原良二<sup>2)</sup>、後藤秀実<sup>2)</sup>
- S1-7 大腸ESD巨大病変の治療成績と問題  
豊橋市民病院 消化器内科  
○南 喜之、山田雅弘、浦野文博
- S1-8 大腸ESD施行時における針状メスとはさみ型ナイフ併用の有用性  
鈴鹿中央総合病院 消化器内科  
○向 克巳、佐瀬友博、齊藤知規

S 1 - 9 大腸ESD穿孔症例の検討

名古屋市立大学病院 消化器内科

○野村智史、志村貴也、城 卓志

S 1 -10 大腸腫瘍に対する内視鏡的剥離術における後出血のリスク因子に関する検討

愛知医科大学 消化管内科

○田村泰弘、小笠原尚高、春日井邦夫

S 1 -11 内視鏡治療後局所遺残腫瘍に対する大腸ESDの治療成績

静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科

○伊藤紗代、堀田欣一、今井健一郎



## ■第1会場

---

シンポジウム2 9:00~11:15

司会：藤田保健衛生大学 肝胆膵内科

橋本千樹

名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学

林 香月

---

S2-1 当施設におけるEUS-FNAの現状

JA愛知厚生連豊田厚生病院 消化器内科

○伊藤裕也、都築智之、西村大作

S2-2 当院における膵癌に対するEUS-FNAおよびon-site迅速細胞診の検討

春日井市民病院 消化器科

○池内寛和、高田博樹、祖父江聡

S2-3 当院での膵腫瘍に対するEUS-FNAの診断能についての検討と迅速細胞診(ROSE)併用の有用性について

大垣市民病院 消化器内科

○犬飼庸介、金森 明、熊田 卓

S2-4 新型コアトラップ付き20G生検針の膵腫瘍に対するEUS-FNAの成績

静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科

○石渡裕俊、松林宏行、小野裕之

S2-5 腹腔内・縦隔内リンパ節腫脹に対する造影EUSの有用性について

岐阜大学医学部附属病院 消化器病態学

○吉田健作、岩下拓司、清水雅仁

S2-6 造影EUS-FNAの使用経験-より良い診断能と安全性を求めて-

藤田保健衛生大学 肝胆膵内科

○中岡和徳、川部直人、橋本千樹

S2-7 浸潤性膵管癌の造影CTと造影EUSの造影様式の相違点について

名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学<sup>1)</sup>、

名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部<sup>2)</sup>

○須原寛樹<sup>1)</sup>、廣岡芳樹<sup>2)</sup>、後藤秀実<sup>1)</sup>

S2-8 抗血栓薬服用者に対するEUS-FNAの安全性の検討

愛知医科大学 肝胆膵内科<sup>1)</sup>、岐阜県立多治見病院 消化器内科<sup>2)</sup>

○井上匡央<sup>1)</sup>、奥村文浩<sup>2)</sup>、米田政志<sup>1)</sup>

- S 2-9 当院における Interventional EUS の成績と展望  
社会医療法人宏潤会大同病院 消化器内科  
○宜保憲明、下郷友弥、野々垣浩二
- S 2-10 当院における急性胆嚢炎に対する超音波内視鏡下胆嚢ドレナージ術 (EUS-GBD) の検討  
岐阜県立多治見病院 消化器内科  
○鈴木雄太、水島隆史、奥村文浩
- S 2-11 当院における急性胆嚢炎に対する EUS-GBD の治療成績  
名古屋市立大学院医学研究科 消化器・代謝内科学  
○夏目まこと、林 香月、内藤 格
- S 2-12 当科における超音波内視鏡下胆道ドレナージ術の治療成績  
岐阜市民病院 消化器内科  
○河口順二、小木曾英介、向井 強
- S 2-13 当院における切除不能悪性胆道閉塞に対する超音波内視鏡下瘻孔形成術の治療成績  
豊橋市民病院 消化器内科  
○植月康太、松原 浩、浦野文博
- S 2-14 良性胆道疾患に対する超音波内視鏡下瘻孔形成術を応用した手技  
愛知県がんセンター中央病院 消化器内科部  
○奥野のぞみ、原 和生、水野伸匡
- S 2-15 Pancreatic fluid collection に対する EUS 下ドレナージの治療成績  
岐阜県総合医療センター 消化器内科  
○岩田圭介、安藤暢洋、杉原潤一

## 若手研究者優秀演題奨励賞選定セッション審査員

### 上部消化管：

三重大学医学部附属病院 光学医療診療部	田中匡介
名古屋セントラル病院 消化器内科	安藤伸浩
岐阜大学医学部附属病院 光学医療診療部	荒木寛司

### 下部消化管：

名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学	谷田諭史
静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科	堀田欣一
名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部	山村健史

### 胆 膵：

岐阜市民病院 消化器内科	向井 強
名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学	内藤 格
三重大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科	井上宏之

## ■第2会場

### 若手研究者優秀演題奨励賞選定セッション

---

食道・十二指腸 9:00～9:35

座長：朝日大学歯学部附属村上記念病院 消化器内科 富江 晃

---

- Y-1 薬剤の食道通過障害を契機に診断された好酸球性食道炎の1例  
岐阜県総合医療センター 消化器内科 病理診断科  
○市川広直、山崎健路、岩田 仁、山下晃司、三田直樹、佐竹智行、  
中西孝之、永野淳二、安藤暢洋、岩田圭介、芋瀬基明、清水省吾、  
杉原潤一
- Y-2 粘膜下嚢胞を伴う Barrett 食道腺癌に対して食道ESDを施行した一例  
刈谷豊田総合病院 内科<sup>1)</sup>、病理診断科<sup>2)</sup>  
○大脇政志<sup>1)</sup>、坂巻慶一<sup>1)</sup>、浜島英司<sup>1)</sup>、中江康之<sup>1)</sup>、仲島さより<sup>1)</sup>、  
久野剛史<sup>1)</sup>、三浦眞之祐<sup>1)</sup>、鈴木孝弘<sup>1)</sup>、池上脩二<sup>1)</sup>、溝上雅也<sup>1)</sup>、  
恒川卓也<sup>1)</sup>、山本 怜<sup>1)</sup>、竹内一訓<sup>1)</sup>、井本正巳<sup>1)</sup>、伊藤 誠<sup>2)</sup>
- Y-3 Precutting EMRで偶発症なく一括切除が可能であった十二指腸腺腫の1例  
伊勢赤十字病院 消化器内科  
○天満大志、亀井 昭、久田拓央、奥田奈央子、橋本有貴、林 智士、  
野村達磨、伊藤達也、杉本真也、高見麻佑子、山村光弘、大山田純
- Y-4 細径大腸スコープを用いて止血し得た、十二指腸水平部の憩室出血の一例  
静岡市立清水病院 消化器内科  
○伊藤達弘、三神正華、小池弘太、池田 誉、高柳泰宏、窪田裕幸
- Y-5 十二指腸癌に対し金属ステントを留置し化学療法を施行した1例  
豊川市民病院 消化器内科  
○小林由花、百瀬淳子、佐野 仁、宮木知克、大山 展、西 祐二、  
神野成臣、柴田俊輔、藤岡一敏、名倉義人、的屋 奨、中村 誠

## 若手研究者優秀演題奨励賞選定セッション

---

胃良性 9:35~10:03

座長：東海病院 内科 丸田真也

---

- Y-6 繰り返す混合型食道裂孔ヘルニアに対して内視鏡的整復、胃瘻造設を行い根治し得た1例  
岡崎市民病院 消化器内科  
○加治源也、内田博起、水野史崇、後藤研人、平松美緒、梶川 豪、服部 峻、山田弘志、飯塚昭男
- Y-7 炭酸ランタン内服にて特徴的な画像所見を呈した慢性腎不全患者の一例  
小牧市民病院 消化器内科  
○古川陽子、小原 圭、宮田章弘、平井孝典、舘 佳彦、小島優子、灰本耕基、佐藤亜矢子、永井真太郎
- Y-8 胃腺腫を合併し特徴的な内視鏡像を呈したA型胃炎の1例  
静岡市立静岡病院 消化器内科  
○奥村大志、河合 歩、杉本崇宰、鈴木博貴、近藤貴浩、黒石健吾、星野勝一、濱村啓介、高橋好朗、田中俊夫、小柳津竜樹
- Y-9 粘膜下層に首座を置いたGISTの1例  
一宮市立市民病院 消化器内科<sup>1)</sup>、外科<sup>2)</sup>、病理診断科<sup>3)</sup>  
○高田直樹<sup>1)</sup>、水谷恵至<sup>1)</sup>、金森信一<sup>1)</sup>、平松 武<sup>1)</sup>、森瀬和宏<sup>1)</sup>、金倉阿優<sup>1)</sup>、坪内達郎<sup>1)</sup>、谷口誠治<sup>1)</sup>、間下恵里奈<sup>1)</sup>、岩田悠嗣<sup>1)</sup>、山中敏広<sup>1)</sup>、篠塚高宏<sup>2)</sup>、村井俊文<sup>2)</sup>、露木琢司<sup>3)</sup>、中島広聖<sup>3)</sup>

## 若手研究者優秀演題奨励賞選定セッション

---

胃悪性 10:03~10:31

座長：静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科 角嶋直美

---

- Y-10 早期胃癌ESD後異時性再発についての検討  
豊橋市民病院 消化器内科  
○山本和弘、山田雅弘、浦野文博、藤田基和、内藤岳人、山本英子、  
松原 浩、植月康太、木下雄貴、飛田恵美子、松田宜賢、南 喜之、  
山本崇文、田中 仁
- Y-11 粘膜下腫瘍の形態を呈した胃濾胞性リンパ腫の1例  
豊橋市民病院 消化器内科  
○山本崇文、山本英子、浦野文博、藤田基和、内藤岳人、山田雅弘、  
松原 浩、植月康太、木下雄貴、飛田恵美子、山本和弘、松田宜賢、  
南 喜之
- Y-12 胃病変を契機に発見されたマントル細胞リンパ腫の一例  
公立陶生病院 消化器内科<sup>1)</sup>、血液内科<sup>2)</sup>  
○佐竹美芽<sup>1)</sup>、竹中宏之<sup>1)</sup>、黒岩正憲<sup>1)</sup>、松浦哲生<sup>1)</sup>、新家卓郎<sup>1)</sup>、  
河邊智久<sup>1)</sup>、森 裕<sup>1)</sup>、長江翔平<sup>1)</sup>、松田悠司<sup>1)</sup>、森田敬一<sup>1)</sup>、  
梶口智弘<sup>2)</sup>
- Y-13 2年間で急速に増大したGastric sarcomatoid carcinomaの1例  
順天堂大学医学部附属静岡病院 消化器内科<sup>1)</sup>、外科<sup>2)</sup>、病理診断科<sup>3)</sup>  
○佐藤 祥<sup>1)</sup>、佐藤俊輔<sup>1)</sup>、天野 希<sup>1)</sup>、村田礼人<sup>1)</sup>、甘楽裕徳<sup>1)</sup>、  
成田諭隆<sup>1)</sup>、金光芳生<sup>1)</sup>、嶋田裕慈<sup>1)</sup>、飯島克順<sup>1)</sup>、櫛田知志<sup>2)</sup>、  
玄田拓哉<sup>1)</sup>、和田 了<sup>3)</sup>、佐藤浩一<sup>2)</sup>、永原章仁<sup>1)</sup>

## ■第3会場

### 若手研究者優秀演題奨励賞選定セッション

---

小腸 9:00～9:28

座長：ブラザー記念病院 消化器内科 本田 亘

---

- Y-14 腸重積が診断の契機となった小腸悪性リンパ腫の2例  
刈谷豊田総合病院 内科<sup>1)</sup>、病理診断科<sup>2)</sup>  
○溝上雅也<sup>1)</sup>、坂巻慶一<sup>1)</sup>、浜島英司<sup>1)</sup>、中江康之<sup>1)</sup>、仲島さより<sup>1)</sup>、  
久野剛史<sup>1)</sup>、三浦眞之祐<sup>1)</sup>、鈴木孝弘<sup>1)</sup>、池上脩二<sup>1)</sup>、大脇政志<sup>1)</sup>、  
恒川卓也<sup>1)</sup>、山本 怜<sup>1)</sup>、井本正巳<sup>1)</sup>、伊藤 誠<sup>2)</sup>
- Y-15 バルーン拡張術が有効であったNSAIDs起因性小腸潰瘍の一例  
岐阜県立多治見病院 消化器内科  
○石原 亮、水島隆史、浦壁憲司、貫井嵩之、鬼頭佑輔、鈴木雄太、  
福定繁紀、加地謙太、尾関貴紀、安部快紀、岩崎弘靖、塚本宏延、  
奥村文浩
- Y-16 腸閉塞の原因診断にカプセル内視鏡が有効であった重複腸管の一例  
岡崎市民病院 消化器内科  
○水野史崇、山田弘志、後藤研人、平松美緒、加治源也、梶川 豪、  
服部 峻、内田博起、飯塚昭男
- Y-17 多発潰瘍型ループス腸炎の一例  
静岡県立総合病院 消化器内科 消化管内科  
○青山弘幸、黒上貴史、大津卓也、佐藤辰宜、増井雄一、青山春奈、  
榎田浩平、大島典彦、川合麻実、寺田修三、大野和也

## 若手研究者優秀演題奨励賞選定セッション

---

大腸良性 9:28~10:03

座長：津島市民病院 消化器科 荒川大吾

---

- Y-18 降圧治療に伴い腸管虚血をきたした大動脈炎症候群の1例  
木沢記念病院 消化器科<sup>1)</sup>、外科<sup>2)</sup>、病理診断科<sup>3)</sup>  
○水谷しの<sup>1)</sup>、森 弘輔<sup>1)</sup>、加藤潤一<sup>1)</sup>、足達広和<sup>1)</sup>、安田陽一<sup>1)</sup>、  
大島靖広<sup>1)</sup>、杉山 宏<sup>1)</sup>、小久保健太郎<sup>2)</sup>、尾関 豊<sup>2)</sup>、杉山誠治<sup>3)</sup>、  
松永研吾<sup>3)</sup>、山田鉄也<sup>3)</sup>
- Y-19 潰瘍性大腸炎に合併した直腸LSTに対しESDを施行した一例  
豊橋市民病院 消化器内科  
○田中 仁、山田雅弘、藤田基和、内藤岳人、山本英子、松原 浩、  
植月康太、木下雄貴、飛田恵美子、山本和弘、山本崇文、南 喜之、  
松田宣賢、浦野文博
- Y-20 下血で来院したHIV感染者  
トヨタ記念病院 消化器内科<sup>1)</sup>、消化器外科<sup>2)</sup>、臨床検査科<sup>3)</sup>  
○高橋秀和<sup>1)</sup>、鈴木貴久<sup>1)</sup>、高士ひとみ<sup>1)</sup>、三宅忍幸<sup>1)</sup>、村山 睦<sup>1)</sup>、  
平井恵子<sup>1)</sup>、呉原裕樹<sup>2)</sup>、北川 諭<sup>3)</sup>
- Y-21 特異的な内視鏡所見を呈したIpilimumab関連腸炎の2例  
静岡県立総合病院 消化器センター 消化管内科  
○佐藤辰宣、大津卓也、青山弘幸、増井雄一、青山春奈、榎田浩平、  
大島典彦、川合麻美、寺田修三、黒上貴文、大野和也
- Y-22 抗結核療法後針穴大の狭窄となるも腸閉塞症状を呈さなかった大腸結核の1例  
浜松医療センター 消化器内科  
○浅井雄介、花岡智彦、山田景子、木次健介、高鳥真吾、松浦 愛、  
栗山 茂、住吉信一、岩岡泰志、吉井重人、影山富士人、金岡 繁



## 若手研究者優秀演題奨励賞選定セッション

---

大腸悪性 10:03~10:31

座長：鈴鹿中央総合病院 病理診断科 馬場洋一郎

---

- Y-23 結腸多発腫瘍の診断にステント留置が有用であった同時性4多発大腸癌の一例  
半田市立半田病院 消化器内科  
○野浪大介、神岡諭郎、鈴木智彦、廣瀬 崇、杉本啓之、森井正哉、大塚泰郎
- Y-24 腸管悪性リンパ腫に対する自家末梢血幹細胞移植後に潰瘍性大腸炎が寛解した一例  
安城更生病院 消化器内科  
○浅井清也、鶴留一誠、青木敏典、市川雄平、林大樹朗、岡田昭久、竹内真実子
- Y-25 内肛門括約筋切除術後の吻合部完全閉鎖に対し内視鏡的切開術が有用であった一例  
岐阜大学医学部 第一内科  
○吉田泰之、荒木寛司、小島健太郎、渡邊 諭、大西雅也、杉山智彦、高田 淳、久保田全哉、井深貴士、清水雅仁
- Y-26 外科的切除を行った直腸神経内分泌細胞癌の1例  
小牧市民病院 消化器内科  
○塚本英祐、小原 圭、宮田章弘、平井孝典、舘 佳彦、小島優子、灰本耕基、佐藤亜矢子、永井真太郎、古川陽子

## ■第4会場

### 若手研究者優秀演題奨励賞選定セッション

---

胆道 9:00～9:28

座長：名古屋大学医学部附属病院 消化器内科 石川卓哉

---

Y-27 完全内臓逆位を伴う胆管空腸吻合部狭窄に対してダブルバルーン内視鏡下ERCPが有用であった1例

愛知医科大学 卒後臨床研修センター<sup>1)</sup>、肝胆膵内科<sup>2)</sup>

○指宿麻悠<sup>1)</sup>、井上匡央<sup>2)</sup>、山本高也<sup>2)</sup>、石井紀光<sup>2)</sup>、小林佑次<sup>2)</sup>、  
坂本和賢<sup>2)</sup>、大橋知彦<sup>2)</sup>、中出幸臣<sup>2)</sup>、伊藤清顕<sup>2)</sup>、中尾春壽<sup>2)</sup>、  
米田政志<sup>2)</sup>

Y-28 浸潤性胆管内乳頭状腫瘍の1切除例

大垣市民病院 消化器内科

○竹田 堯、金森 明、桐山勢生、谷川 誠、久永康宏、豊田秀徳、  
多田俊史、北畠秀介、山 剛基、横山晋也、小林奈津子、水野和幸、  
東堀 諒、犬飼庸介、曾根康博、熊田 卓

Y-29 好酸球浸潤を伴った慢性胆嚢炎の一例

社会医療法人宏潤会大同病院 消化器内科

○水野創太、野々垣浩二、印牧直人、下郷友弥、榊原聡介、宜保憲明、  
倉下貴光、南 正史、大北宗由、柳瀬成希、金沢哲広

Y-30 魚骨により Lemmel 症候群を来した Roux-en-Y 再建術後の一例

浜松医科大学 第一内科<sup>1)</sup>、光学医療診療部<sup>2)</sup>、臨床研究管理センター<sup>3)</sup>、  
臨床腫瘍学講座<sup>4)</sup>

○江上貴俊<sup>1)</sup>、杉山智洋<sup>1)</sup>、高橋賢一<sup>1)</sup>、芹澤亜紗美<sup>1)</sup>、志村恵理<sup>1)</sup>、  
鈴木崇弘<sup>1)</sup>、田村 智、高野亮佑<sup>1)</sup>、森 泰希<sup>1)</sup>、鏡 卓馬<sup>1)</sup>、  
鈴木 聡<sup>1)</sup>、市川仁美<sup>1)</sup>、谷 伸也<sup>1)</sup>、大石慎司<sup>1)</sup>、山出美穂子<sup>4)</sup>、  
濱屋 寧<sup>1)</sup>、岩泉守哉<sup>1)</sup>、大澤 恵<sup>2)</sup>、古田隆久<sup>3)</sup>、杉本 健<sup>1)</sup>

## 若手研究者優秀演題奨励賞選定セッション

---

膵臓 9：28～9：49

座長：愛知県がんセンター中央病院 消化器内科 原 和生

---

- Y-31 IgG4関連疾患として自己免疫性膵炎に線維性縦隔炎を合併した1例  
公立陶生病院 消化器内科  
○松田悠司、黒岩正憲、松浦哲生、竹中宏之、新家卓郎、河邊智久、  
森 裕、佐竹美芽、長江翔平、森田敬一
- Y-32 通常型膵癌を合併したIPMNの1例  
刈谷豊田総合病院 内科<sup>1)</sup>、病理診断科<sup>2)</sup>  
○恒川卓也、中江康之、浜島英司、仲島さより、坂巻慶一、久野剛史、  
三浦眞之祐、鈴木孝弘、池上脩二、大脇政志、溝上雅也、山本 怜、  
井本正巳<sup>1)</sup>、伊藤 誠<sup>2)</sup>
- Y-33 慢性膵炎に伴う膵石症に対する体外衝撃波結石破碎療法後に膵嚢胞感染を来した1例  
大同病院 消化器内科  
○金沢哲広、水野創太、柳瀬成希、南 正史、大北宗由、宜保憲明、  
榊原聡介、下郷友弥、野々垣浩二、印牧直人

## 若手研究者優秀演題奨励賞選定セッション

---

その他 9:49~10:24

座長：安城更生病院 消化器内科 鶴留一誠

---

- Y-34 当院での上部消化管異物の経験  
静岡市立静岡病院 消化器総合センター 消化器内科  
○河合 歩、奥村大志、杉本崇斎、鈴木博貴、近藤貴浩、黒石健吾、  
星野勝一、濱村啓介、田中俊夫、小柳津竜樹
- Y-35 当院における小児内視鏡症例の検討  
社会医療法人宏潤会大同病院 消化器内科<sup>1)</sup>、小児科<sup>2)</sup>、  
卒後臨床研修センター<sup>3)</sup>  
○田島万莉<sup>3)</sup>、金沢哲広<sup>1)</sup>、水野創太<sup>1)</sup>、柳瀬成希<sup>1)</sup>、南 正史<sup>1)</sup>、  
倉下貴光<sup>1)</sup>、大北宗由<sup>1)</sup>、宜保憲明<sup>1)</sup>、榊原聡介<sup>1)</sup>、下郷友弥<sup>1)</sup>、  
印牧直人<sup>1)</sup>、野々垣浩二<sup>1)</sup>、田村 泉<sup>2)</sup>、安井竜志<sup>2)</sup>、大辻塩見<sup>2)</sup>、  
浅井雅美<sup>2)</sup>、水野美穂子<sup>2)</sup>
- Y-36 Over The Scope Clip システムを用いて、内視鏡的に閉鎖し得た PEG 後胃結腸  
瘻の一例  
公立学校共済組合 東海中央病院  
○水野江美、片岡邦夫、阿知波宏一
- Y-37 EUS-FNA にて診断した副腎原発悪性リンパ腫の 1 例  
半田市立半田病院 消化器内科  
○小島宏美、杉本啓之、野浪大介、鈴木智彦、廣瀬 崇、森井正哉、  
神岡諭郎、大塚泰郎
- Y-38 上部消化管内視鏡検査後に一過性全健忘をきたした症例  
岐阜赤十字病院 消化器内科  
○鷲見聡子、高橋裕司、杉江岳彦、小川憲吾、松下知路、名倉一夫

## 第2会場

---

胃良性・その他 10:31~10:59

座長：藤田保健衛生大学 消化管内科 柴田知行

---

- 1      Linked Color Imaging (LCI) 観察と白色光 (WL) 観察の胃スクリーニング観察における所見認識能の検討  
        朝日大学歯学部附属村上記念病院 消化器内科  
        ○北江博晃、中畑由紀、富江 晃、大島靖広、大洞昭博、小島孝雄、八木信明
  
- 2      酢酸インジゴカルミン混合液による胃癌検出能の検討  
        山下病院 消化器内科  
        ○広瀬 健、服部昌志、松崎一平、磯部 祥、泉 千明、丸川高弘、江崎正哉、中澤三郎
  
- 3      ジメチコン混注／非混注I-メントールを用いた上部消化管内視鏡検査の検討  
        山下病院 消化器内科  
        ○江崎正哉、服部昌志、松崎一平、磯部 祥、広瀬 健、泉 千明、丸川高弘、中澤三郎
  
- 4      当院の上部消化管内視鏡検査における咽頭麻酔の工夫  
        みよし市民病院 消化器内科  
        ○濱田広幸、上野泰明、伊藤 治、成瀬 達

## 第2会場

---

胃良性 15:00~15:28

座長：名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学 片岡洋望

---

- 5 成人の肥厚性幽門狭窄症の一例  
静岡県立総合病院 消化管内科<sup>1)</sup>、消化器外科<sup>2)</sup>  
○榎田浩平<sup>1)</sup>、黒上貴史<sup>1)</sup>、大津卓也<sup>1)</sup>、佐藤辰則<sup>1)</sup>、青山弘幸<sup>1)</sup>、  
増井雄一<sup>1)</sup>、青山春奈<sup>1)</sup>、川合麻実<sup>1)</sup>、寺田修三<sup>1)</sup>、大野和也<sup>1)</sup>、  
佐藤真輔<sup>2)</sup>
- 6 術前に診断しえた胃Glomus腫瘍の一例  
山下病院 消化器内科  
○磯部 祥、服部昌志、松崎一平、広瀬 健、泉 千明、丸川高弘、  
江崎正哉、中澤三郎
- 7 胃限局性アミロイドーシスの一例  
名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学<sup>1)</sup>、  
名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部<sup>2)</sup>、化学療法部<sup>3)</sup>  
○伊藤信仁<sup>1)</sup>、宮原良二<sup>1)</sup>、船坂好平<sup>1)</sup>、古川和宏<sup>2)</sup>、菊池正和<sup>1)</sup>、  
大林友彦<sup>1)</sup>、浅井裕充<sup>1)</sup>、小林健一<sup>2)</sup>、松岡 歩<sup>3)</sup>、松井健一<sup>1)</sup>、  
藤吉俊尚<sup>1)</sup>、小宮山琢真<sup>1)</sup>、細野 功<sup>1)</sup>、古根 聡<sup>1)</sup>、石川卓也<sup>1)</sup>、  
山村健史<sup>2)</sup>、中村正直<sup>1)</sup>、大野栄三郎<sup>1)</sup>、川嶋啓揮<sup>1)</sup>、前田 修<sup>3)</sup>、  
渡辺 修<sup>1)</sup>、廣岡芳樹<sup>2)</sup>、後藤秀実<sup>1)</sup>
- 8 内視鏡治療をおこなった巨大胃石症の一例  
JA愛知厚生連江南厚生病院 消化器内科  
○末澤誠朗、佐々木雅隆、熊野良平、木下拓也、五藤直也、原 裕貴、  
颯田祐介、森島大雅、吉田大介、佐々木洋治

- 9 A型胃炎による悪性貧血に合併した早期胃癌に対しESDを施行した1例  
国家公務員共済組合連合会名城病院 消化器内科  
○吉崎道代、水谷太郎、松下高明、小澤 喬、長野健一
- 10 LCIが診断に有用であった早期胃癌の一例  
名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学<sup>1)</sup>、  
名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部<sup>2)</sup>  
○小宮山琢真<sup>1)</sup>、宮原良二<sup>1)</sup>、船坂好平<sup>1)</sup>、古川和宏<sup>2)</sup>、菊池正和<sup>1)</sup>、  
大林友彦<sup>1)</sup>、浅井裕充<sup>1)</sup>、松岡 歩<sup>1)</sup>、小林健一<sup>2)</sup>、松井健一<sup>1)</sup>、  
藤吉俊尚<sup>1)</sup>、細野 功<sup>1)</sup>、伊藤信仁<sup>1)</sup>、古根 聡<sup>1)</sup>、山村健史<sup>2)</sup>、  
石川卓哉<sup>1)</sup>、大野栄三郎<sup>1)</sup>、中村正直<sup>1)</sup>、川嶋啓揮<sup>1)</sup>、渡辺 修<sup>1)</sup>、  
前田 修<sup>1)</sup>、廣岡芳樹<sup>2)</sup>、後藤秀実<sup>1)</sup>
- 11 短期間で肉眼型に変化を来した早期胃癌の一例  
中京病院 消化器内科  
○杉村直美、戸川昭三、菅田亮太郎、佐々木槿子、金子 望、井上智司、  
飛鳥井香紀、高口裕規、井上裕介、長谷川泉
- 12 内視鏡的止血術後に胃穿孔を来した胃癌の一例  
みなと医療生活協同組合 協立総合病院 消化器内科<sup>1)</sup>、外科<sup>2)</sup>  
○小西隆文<sup>1)</sup>、高木 篤<sup>1)</sup>、森 智子<sup>1)</sup>、長谷川綾平<sup>1)</sup>、江間幸雄<sup>1)</sup>、  
中澤幸久<sup>2)</sup>

- 13 特異な形態を呈したC-KIT陰性GISTの一切除例  
豊橋市民病院 消化器内科  
○木下雄貴、山本英子、浦野文博、藤田基和、内藤岳人、山田雅弘、  
松原 浩、植月康太、飛田恵美子、山本和弘、松田宣賢、南 喜之、  
山本崇文、田中 仁
- 14 術前に超音波内視鏡検査の機会を得た早期胃原発リンパ上皮腫様癌の1切除例  
名鉄病院 消化器内科<sup>1)</sup>、名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学<sup>2)</sup>  
○奥藤 舞<sup>1)</sup>、西尾雄司<sup>1)</sup>、竹田欽一<sup>1)</sup>、荒川恭宏<sup>1)</sup>、室井航一<sup>1)</sup>、  
後藤秀実<sup>2)</sup>
- 15 幽門側胃切除Roux-en-Y再建術後に発症した吻合部腸重積の2例  
愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院 消化器内科  
○喜田裕一、岩下紘一、伊藤裕也、竹内淳史、森田 清、都築智之
- 16 当院における悪性胃十二指腸狭窄に対するNiti-S胃十二指腸用ステントの有用性  
国立病院機構名古屋医療センター 消化器科  
○田中大貴、岩瀬弘明、島田昌明、平島 昇、龍華康光、浦田 登、  
後藤百子、宇仁田慧、近藤 高
- 17 胃十二指腸ステント留置術施行後 ステントが小腸内に逸脱し自然排出された  
1例  
みなと医療生活協同組合協立総合病院 消化器内科  
○長谷川綾平、高木 篤、森 智子、小西隆文



- 18 当院における小児上部消化管異物に対する内視鏡的摘出術の検討  
安城更生病院 消化器内科  
○青木聡典、浅井清也、市川雄平、林大樹朗、鶴留一誠、岡田昭久、  
細井 努、竹内真実子
- 19 成人のボタン型電池誤飲に対して、透視下で内視鏡とマグネットチューブを併  
用で回収できた一例  
伊勢赤十字病院 消化器内科  
○山村光弘、久田拓央、天満大志、橋本有貴、奥田奈央子、林 智士、  
野村達磨、伊藤達也、高見麻佑子、杉本真也、大山田純、亀井 昭
- 20 当院における OTSC (Over-The-Scope-Crip) の使用経験  
半田市立半田病院 消化器内科  
○神岡諭郎、野浪大介、鈴木智彦、廣瀬 崇、杉本啓之、森井正哉、  
大塚泰郎
- 21 Over The-Scope Clip システムにより閉鎖し得た十二指腸EMR 後遅発性穿孔の  
1 例  
大垣市民病院 消化器内科  
○東堀 諒、熊田 卓、桐山勢生、谷川 誠、久永康宏、豊田秀徳、  
金森 明、北畠秀介、多田俊史、山 剛基、横山晋也、小林奈津子、  
水野和幸、犬飼庸介、竹田 堯
- 22 EUS-FNA が確定診断に有用であった形質細胞腫の一例  
国家公務員共済組合連合会 東海病院 内科  
○山田健太、田中達也、濱宇津吉隆、北村雅一、石川英樹、丸田真也

## 第3会場

大腸良性 10:31~11:13

座長：総合上飯田第一病院 内科 城 浩介

- 23 当院におけるクローン病に対する生物学的製剤の有用性の検討  
名古屋第一赤十字病院 消化器内科  
○西尾 亮、春田純一、山口丈夫、土居崎正雄、鷺見 肇、村手健太郎、  
長谷川一成、青井広典、河村達哉
- 24 大腸ポリープに対するコールドスネアポリペクトミーの実際  
朝日大学歯学部附属村上記念病院 消化器内科  
○中畑由紀、大島靖広、大洞昭博、小島孝雄、北江博晃、富江 晃、  
福田信宏、八木信明
- 25 放射線性直腸炎による血便に対しアルゴンプラズマ凝固療法が有効であった1例  
みなと医療生活協同組合協立総合病院 消化器内科<sup>1)</sup>、外科<sup>2)</sup>  
○森 智子<sup>1)</sup>、高木 篤<sup>1)</sup>、長谷川綾平<sup>1)</sup>、小西隆文<sup>1)</sup>、江間幸雄<sup>1)</sup>、  
中澤幸久<sup>2)</sup>
- 26 エピネフリン溶液の粘膜下局注併用下アルゴンプラズマ凝固療法が有用であつた大腸 angioectasia の1例  
聖隷浜松病院 消化器内科  
○海野修平、山田洋介、杉浦喜一、宮津隆裕、瀧浪将貴、木全政晴、  
芳澤 社、室久 剛、熊岡浩子、清水恵理奈、細田佳佐、長澤正通、  
佐藤嘉彦
- 27 内視鏡下生検にて確定診断した腸管子宮内膜症の2例  
三重大学医学部附属病院 光学医療診療部<sup>1)</sup>、消化管外科<sup>2)</sup>、  
消化器・肝臓内科<sup>3)</sup>  
○三浦広嗣<sup>1)</sup>、濱田康彦<sup>1)</sup>、廣純一郎<sup>2)</sup>、葛原正樹<sup>1)</sup>、田中匡介<sup>1)</sup>、  
堀木紀行<sup>1)</sup>、小島真一<sup>3)</sup>、作野 隆<sup>3)</sup>、原田哲朗<sup>3)</sup>、山田玲子<sup>3)</sup>、  
井上宏之<sup>3)</sup>、竹井謙之<sup>3)</sup>
- 28 ESDが確定診断のために有用であつた直腸良性リンパ濾胞性ポリープの1例  
静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科<sup>1)</sup>、病理診断科<sup>2)</sup>  
○細谷和也<sup>1)</sup>、伊藤紗代<sup>1)</sup>、堀田欣一<sup>1)</sup>、今井健一郎<sup>1)</sup>、川田 登<sup>1)</sup>、  
田中雅樹<sup>1)</sup>、角嶋直美<sup>1)</sup>、滝沢耕平<sup>1)</sup>、石渡裕俊<sup>1)</sup>、松林宏行<sup>1)</sup>、  
大石琢磨<sup>2)</sup>、草深公秀<sup>2)</sup>、下田忠和<sup>2)</sup>、小野裕之<sup>1)</sup>

- 29 早期直腸癌 (colitic cancer) を合併した、慢性持続型・全大腸炎型潰瘍性大腸炎の1例  
藤枝市立総合病院 消化器内科  
○寺井智宏、丸山保彦、景岡正信、大島昭彦、佐原 秀、山本晃大、星野弘典
- 30 EMRの6年後に遺残・転移再発したI p型大腸sm massive癌の1例  
みなと医療生活協同組合協立総合病院 消化器内科<sup>1)</sup>、外科<sup>2)</sup>  
○高木 篤<sup>1)</sup>、森 智子<sup>1)</sup>、長谷川綾平<sup>1)</sup>、江間幸雄<sup>1)</sup>、小西隆文<sup>1)</sup>、中澤幸久<sup>2)</sup>
- 31 内視鏡補助下に経肛門的切開・拡張術を施行した直腸癌術後吻合部完全閉塞の一例  
公立西知多総合病院 消化器内科  
○小林寛子、平松美穂、春田明範、小島久実、山田恵一、安藤貴文
- 32 当院における悪性大腸狭窄に対するNiti-S大腸用ステント留置症例の検討  
国立病院機構名古屋医療センター 消化器科  
○後藤百子、岩瀬弘明、島田昌明、平嶋 昇、龍華庸光、浦田 登、宇仁田慧、近藤 高、田中大貴
- 33 消化管ステント留置術における造影剤マーキングの有用性  
市立四日市病院 消化器内科  
○二宮 淳、小林 真、杉山 齊、三輪田哲郎、小嶋健太郎、小林 新、熊谷成将、前川直志、桑原好造、水谷哲也、矢野元義

- 34 深部静脈血栓症を合併した小腸・大腸型クローン病の1例  
刈谷豊田総合病院 内科  
○三浦眞之祐、浜島英司、中江康之、仲島さより、坂巻慶一、久野剛史、鈴木孝弘、池上脩二、大脇政志、溝上雅也、恒川卓也、山本 怜、井本正巳
- 35 小腸イレウスを契機にダブルバルーン内視鏡で診断された好酸球性胃腸炎の1例  
名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学<sup>1)</sup>、  
名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部<sup>2)</sup>  
○大塚裕之<sup>1)</sup>、渡辺 修<sup>1)</sup>、中村正直<sup>1)</sup>、山村健史<sup>2)</sup>、松下正伸<sup>1)</sup>、大島啓嗣<sup>1)</sup>、佐藤淳一<sup>1)</sup>、齋藤雅之<sup>1)</sup>、松浦倫三郎<sup>1)</sup>、水谷泰之<sup>1)</sup>、澤田つな騎<sup>1)</sup>、丹羽慶樹<sup>1)</sup>、石川恵里<sup>1)</sup>、内田元太<sup>1)</sup>、鈴木悠土<sup>1)</sup>、石田哲也<sup>1)</sup>、西川貴広<sup>1)</sup>、石川卓哉<sup>1)</sup>、古川和宏<sup>2)</sup>、船坂好平<sup>1)</sup>、大野栄三郎<sup>1)</sup>、川嶋啓揮<sup>1)</sup>、宮原良二<sup>1)</sup>、廣岡芳樹<sup>2)</sup>、後藤秀実<sup>1)</sup>
- 36 当院における小腸結核の検討  
名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学<sup>1)</sup>、  
名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部<sup>2)</sup>  
○石田哲也<sup>1)</sup>、渡辺 修<sup>1)</sup>、中村正直<sup>1)</sup>、山村健史<sup>2)</sup>、松下正伸<sup>1)</sup>、大島啓嗣<sup>1)</sup>、佐藤淳一<sup>1)</sup>、齋藤雅之<sup>1)</sup>、松浦倫三郎<sup>1)</sup>、水谷泰之<sup>1)</sup>、澤田つな騎<sup>1)</sup>、丹羽慶樹<sup>1)</sup>、石川恵里<sup>1)</sup>、内田元太<sup>1)</sup>、大塚裕之<sup>1)</sup>、鈴木悠土<sup>1)</sup>、西川貴広<sup>1)</sup>、石川卓哉<sup>1)</sup>、古川和宏<sup>2)</sup>、船坂好平<sup>1)</sup>、大野栄三郎<sup>1)</sup>、川嶋啓揮<sup>1)</sup>、宮原良二<sup>1)</sup>、廣岡芳樹<sup>2)</sup>、後藤秀実<sup>1)</sup>
- 37 カプセル内視鏡検査が病態の把握に有用であったHenoch-Schönlein紫斑病(HSP)の1例  
藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院 消化器内科<sup>1)</sup>、病理部<sup>2)</sup>  
○安江祐二<sup>1)</sup>、片野義明<sup>1)</sup>、乾 和郎<sup>1)</sup>、小林 隆<sup>1)</sup>、三好広尚<sup>1)</sup>、山本智支<sup>1)</sup>、松浦弘尚<sup>1)</sup>、鳥井淑敬<sup>1)</sup>、森 智子<sup>1)</sup>、黒川雄太<sup>1)</sup>、細川千佳生<sup>1)</sup>、大屋貴裕<sup>1)</sup>、稲田健一<sup>2)</sup>
- 38 小腸カプセル内視鏡検査で発見された小腸癌の一例  
総合上飯田第一病院 消化器内科<sup>1)</sup>、ブラザー記念病院 消化器内科<sup>2)</sup>、  
名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学<sup>3)</sup>  
○和田啓孝<sup>1)</sup>、小田切英樹<sup>1)</sup>、小栗彰彦<sup>1)</sup>、城 浩介<sup>1)</sup>、本田 亘<sup>2)</sup>、松下正伸<sup>3)</sup>、中村正直<sup>3)</sup>、後藤秀実<sup>3)</sup>

- 39 内視鏡的粘膜下層剥離術にて切除し得た回腸末端脂肪腫の一例  
愛知医科大学 消化管内科  
○川村百合加、野田久嗣、駒井洋彦、高山将旭、加藤駿介、小野 聡、  
中川頌子、越野 颯、林田真由子、新村哲也、野口誠司、下郷彰礼、  
吉峰 崇、山口純治、足立和規、岡庭紀子、郷治滋希、田村泰弘、  
近藤好博、井澤晋也、舟木 康、海老正秀、小笠原尚高、佐々木誠人、  
春日井邦夫
- 40 難治性空腸皮膚瘻に対してガイドワイヤー誘導下OTSCシステムが有効であつた一例  
JA岐阜厚生連西美濃厚生病院 内科  
○西脇伸二、寺倉大志、若山孝英、中村博式、岩下雅秀、田上 真、  
畠山啓朗、林 隆夫、前田晃男
- 41 当院におけるクローン病小腸狭窄に対するダブルバルーン内視鏡による内視鏡下バルーン拡張術の治療成績  
名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学<sup>1)</sup>、  
名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部<sup>2)</sup>  
○西川貴広<sup>1)</sup>、渡辺 修<sup>1)</sup>、中村正直<sup>1)</sup>、山村健史<sup>2)</sup>、松下正伸<sup>1)</sup>、  
大島啓嗣<sup>1)</sup>、佐藤淳一<sup>1)</sup>、齋藤雅之<sup>1)</sup>、松浦倫三郎<sup>1)</sup>、水谷泰之<sup>1)</sup>、  
澤田つな騎<sup>1)</sup>、丹羽慶樹<sup>1)</sup>、石川恵里<sup>1)</sup>、内田元太<sup>1)</sup>、大塚裕之<sup>1)</sup>、  
鈴木悠土<sup>1)</sup>、石田哲也<sup>1)</sup>、石川卓哉<sup>1)</sup>、古川和宏<sup>2)</sup>、船坂好平<sup>1)</sup>、  
大野栄三郎<sup>1)</sup>、川嶋啓揮<sup>1)</sup>、宮原良二<sup>1)</sup>、廣岡芳樹<sup>2)</sup>、後藤秀実<sup>1)</sup>
- 42 ダブルバルーン内視鏡で破碎し得た柿胃石による小腸イレウスの1例  
社会医療法人財団新和会 八千代病院 消化器内科  
○白井 修、氏原正樹、樋口俊哉、三浦正博、小鳥達也

## 第4会場

---

食道 10:24~10:59

座長：刈谷豊田総合病院 消化器内科 坂巻慶一

---

- 43 検診で診断された好酸球性食道炎の一例  
三重大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科  
○小島真一、葛原正樹、三浦広嗣、作野 隆、原田哲郎、山田玲子、  
中村美咲、井上宏之、濱田康彦、田中匡介、堀木紀行、竹井謙之
- 44 ダビガトラン起因性食道炎の1例  
愛知県がんセンター愛知病院 緩和ケア科<sup>1)</sup>、消化器内科<sup>2)</sup>  
○野村翔子<sup>1)</sup>、藤田孝義<sup>2)</sup>、側島 友<sup>2)</sup>、近藤真也<sup>2)</sup>
- 45 人間ドックで発見された食道癌症例の検討  
朝日大学歯学部附属村上記念病院 消化器内科<sup>1)</sup>、総合健診センター<sup>2)</sup>  
○大洞昭博<sup>1)</sup>、小島孝雄<sup>1、2)</sup>、中畑由紀<sup>1)</sup>、北江博晃<sup>1)</sup>、黒部拓也<sup>1)</sup>、  
富江 晃<sup>1)</sup>、八木信明<sup>1)</sup>
- 46 EUS-FNAで診断しえた食道横隔膜上憩室を伴う平滑筋腫の1例  
静岡県立総合病院 消化器内科  
○寺田修三、大津卓也、青山弘幸、佐藤辰宣、増井雄一、大島典彦、  
榎田浩平、青山春奈、川合麻美、黒上貴史、白根尚文、大野和也、  
川口真矢
- 47 小児の胃食道静脈瘤に対して内視鏡治療を行った2例  
名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学  
○安田 諭、石上雅敏、田中 卓、山本健太、安藤祐資、伊藤隆徳、  
野村 彩、加藤幸一郎、石津洋二、葛谷貞二、本多 隆、林 和彦、  
廣岡芳樹、後藤秀実

- 48 胆道癌の術式決定における Convex 型 EUS の有用性  
愛知県がんセンター中央病院 消化器内科部<sup>1)</sup>、内視鏡部<sup>2)</sup>  
○藤田 曜<sup>1)</sup>、原 和生<sup>1)</sup>、水野伸匡<sup>1)</sup>、肱岡 範<sup>1)</sup>、奥野のぞみ<sup>1)</sup>、  
田近正洋<sup>2)</sup>、田中 努<sup>2)</sup>、石原 誠<sup>2)</sup>、平山 裕<sup>2)</sup>、大西祥代<sup>2)</sup>、  
平山貴視<sup>1)</sup>、渋谷 仁<sup>1)</sup>、近藤 尚<sup>1)</sup>、鈴木博貴<sup>1)</sup>、鳥山和浩<sup>1)</sup>、  
岩屋博通<sup>1)</sup>、伊東文子<sup>1)</sup>、倉岡直亮<sup>1)</sup>、松本慎平<sup>1)</sup>、丹羽康正<sup>2)</sup>
- 49 メタリックステント挿入が有用であった胆道出血を伴う膵腫瘍の 1 例  
藤田保健衛生大学 肝胆膵内科  
○中野卓二、橋本千樹、川部直人、村尾道人、菅 敏樹、中岡和徳、  
高川友花、大城昌史、高村知希、野村小百合、吉岡健太郎
- 50 中下部悪性胆管狭窄に対する Covered self-expandable metallic stent の  
Recurrent Biliary Obstruction 予測因子の検討  
静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科  
○藤江慎也、石渡裕俊、松林宏行、伊藤紗代、川田 登、今井健一郎、  
田中雅樹、角嶋直美、滝沢耕平、堀田欣一、小野裕之
- 51 広範な表層進展を伴った早期胆管癌の 1 例  
三重大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科<sup>1)</sup>、光学医療診療部<sup>2)</sup>  
○原田哲朗<sup>1)</sup>、山田玲子<sup>1)</sup>、井上宏之<sup>1)</sup>、作野 隆<sup>1)</sup>、吉澤尚彦<sup>1)</sup>、  
小島真一<sup>1)</sup>、三浦広嗣<sup>2)</sup>、中村美咲<sup>1)</sup>、葛原正樹<sup>2)</sup>、濱田康彦<sup>2)</sup>、  
田中匡介<sup>2)</sup>、堀木紀行<sup>2)</sup>、竹井謙之<sup>1)</sup>

- 52 当院での胆管挿管困難例に対するプレカット症例の検討  
聖隷三方原病院 消化器内科  
○山田 哲、多々内暁光、久保田望、佐藤義久、谷 佐世、山下 龍
- 53 下部胆管狭窄を伴った胆管積み上げ結石に対して経口胆道鏡下碎石術を施行した1例  
松波総合病院 消化器内科  
○樋口正美、木村有志、古賀正一、全 秀嶺、藤井 淳、浅野剛之、早崎直行、伊藤康文
- 54 幽門輪温存臍頭十二指腸切除後の魚骨を核とする肝内結石症に対し内視鏡的結石除去を施行した一例  
静岡県立総病院 肝胆膵内科・消化器内科  
○川合麻実、川口真矢、大津卓也、青山弘幸、佐藤辰宣、増井雄一、大島典彦、青山春奈、榎田浩平、寺田修三、白根尚文
- 55 3か月の乳児総胆管結石に対し、内視鏡治療を行った1例  
名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学<sup>1)</sup>、  
名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部<sup>2)</sup>  
○小屋敏也<sup>1)</sup>、廣岡芳樹<sup>2)</sup>、川嶋啓揮<sup>1)</sup>、大野栄三郎<sup>1)</sup>、石川卓哉<sup>1)</sup>、桑原崇通<sup>1)</sup>、河合 学<sup>1)</sup>、須原寛樹<sup>1)</sup>、竹山友章<sup>1)</sup>、橋詰清孝<sup>1)</sup>、田中浩敬<sup>1)</sup>、酒井大輔<sup>1)</sup>、山村健史<sup>2)</sup>、古川和宏<sup>2)</sup>、船坂好平<sup>1)</sup>、中村正直<sup>1)</sup>、宮原良二<sup>1)</sup>、渡辺 修<sup>1)</sup>、後藤秀実<sup>1)</sup>
- 56 術後良性胆管空腸吻合部狭窄に対する短期的カバー付き金属製ステント留置の有用性  
愛知県がんセンター中央病院  
○渋谷 仁、原 和生、奥野のぞみ、脇岡 範、水野伸匡、大西祥代、平山 裕、石原 誠、田中 努、田近正洋、伊東文子、岩屋博道、倉岡直亮、松本慎平、藤田 曜、鳥山和浩、鈴木博貴、近藤 尚、平山貴視、夏目誠治、千田嘉毅、清水泰博、丹羽康正



- 57 連続膵液細胞診を用いて治療し得た Tis 膵癌の一例  
島田市民病院 消化器内科  
○金子淳一、田中佑一、石橋浩平、渡邊晋也、松下雅広、森下宗自
- 58 EUS-FNA が診断に有用であったバーキットリンパ腫の一例  
三重大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科<sup>1)</sup>、光学医療診療部<sup>2)</sup>  
○吉澤尚彦<sup>1)</sup>、井上宏之<sup>1)</sup>、原田哲朗<sup>1)</sup>、山田玲子<sup>1)</sup>、三浦広嗣<sup>2)</sup>、  
作野 隆<sup>1)</sup>、中村美咲<sup>1)</sup>、濱田康彦<sup>2)</sup>、葛原正樹<sup>2)</sup>、田中匡介<sup>2)</sup>、  
堀木紀行<sup>2)</sup>、竹井謙之<sup>1)</sup>
- 59 同時に複数の腫瘍を形成した自己免疫性膵炎の一例  
名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学<sup>1)</sup>、  
名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部<sup>2)</sup>  
○酒井大輔<sup>1)</sup>、廣岡芳樹<sup>2)</sup>、川嶋啓揮<sup>1)</sup>、大野栄三郎<sup>1)</sup>、石川卓哉<sup>1)</sup>、  
桑原崇通<sup>1)</sup>、河合 学<sup>1)</sup>、須原寛樹<sup>1)</sup>、竹山友章<sup>1)</sup>、橋詰清孝<sup>1)</sup>、  
小屋敏也<sup>1)</sup>、田中浩敬<sup>1)</sup>、山村健史<sup>2)</sup>、古川和宏<sup>2)</sup>、船坂好平<sup>1)</sup>、  
中村正直<sup>1)</sup>、宮原良二<sup>1)</sup>、渡辺 修<sup>1)</sup>、後藤秀実<sup>1)</sup>
- 60 連続膵液細胞診にて診断し得た Stage I 膵癌の 1 例  
大垣市民病院 消化器内科  
○小林奈津子、金森 明、桐山勢生、谷川 誠、久永康宏、豊田秀徳、  
多田俊史、北畠秀介、山 剛基、横山晋也、水野和幸、東堀 諒、  
犬飼庸介、竹田 暁、熊田 卓
- 61 EUS-FNA における迅速細胞診の可能性  
愛知県がんセンター中央病院 消化器内科部<sup>1)</sup>、内視鏡部<sup>2)</sup>  
○平山貴視<sup>1)</sup>、原 和生<sup>1)</sup>、水野伸匡<sup>1)</sup>、肱岡 範<sup>1)</sup>、奥野のぞみ<sup>1)</sup>、  
田近正洋<sup>2)</sup>、田中 努<sup>2)</sup>、石原 誠<sup>2)</sup>、平山 裕<sup>2)</sup>、大西祥代<sup>2)</sup>、  
渋谷 仁<sup>1)</sup>、近藤 尚<sup>1)</sup>、鳥山和浩<sup>1)</sup>、鈴木博貴<sup>1)</sup>、藤田 曜<sup>1)</sup>、  
岩屋博道<sup>1)</sup>、伊東文子<sup>1)</sup>、倉岡直亮<sup>1)</sup>、松本慎平<sup>1)</sup>、丹羽康正<sup>2)</sup>

- 62 ENPDによる治療を行った膵性胸水の3例  
藤枝市立総合病院 消化器内科<sup>1)</sup>、浜松南病院 消化器科<sup>2)</sup>  
○大畠昭彦<sup>1)</sup>、丸山保彦<sup>1)</sup>、景岡正信<sup>1)</sup>、寺井智宏<sup>1)</sup>、佐原 秀<sup>1)</sup>、  
山本晃大<sup>1)</sup>、星野弘典<sup>1)</sup>、渡辺文利<sup>2)</sup>
- 63 非典型的な画像を呈した膵腫瘍の一例  
一宮市立市民病院 消化器内科  
○平松 武、岩田悠嗣、間下恵里奈、谷口誠治、坪内達郎、森瀬和宏、  
金森信一、水谷恵至、山中敏広
- 64 メタリックステント留置が有効であった難治性膵管狭窄を伴った慢性膵炎の1例  
藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院 消化器内科  
○黒川雄太、乾 和郎、片野義明、三好広尚、小林 隆、山本智支、  
松浦弘尚、鳥井淑敬、森 智子、細川千佳生、安江裕二、大屋貴裕
- 65 膵癌術前化学放射線療法施行例での内視鏡的十二指腸ステント留置術の検討  
三重大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科<sup>1)</sup>、光学医療診療部<sup>2)</sup>  
○作野 隆<sup>1)</sup>、井上宏之<sup>1)</sup>、原田哲朗<sup>1)</sup>、山田玲子<sup>1)</sup>、小島真一<sup>1)</sup>、  
三浦広嗣<sup>2)</sup>、中村美咲<sup>1)</sup>、濱田康彦<sup>2)</sup>、葛原正樹<sup>2)</sup>、田中匡介<sup>2)</sup>、  
堀木紀行<sup>2)</sup>、竹井謙之<sup>1)</sup>